

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公開番号】特開2001-306034(P2001-306034A)

【公開日】平成13年11月2日(2001.11.2)

【出願番号】特願2000-121276(P2000-121276)

【国際特許分類】

G 09 G	3/36	(2006.01)
G 02 F	1/133	(2006.01)
G 09 G	3/20	(2006.01)

【F I】

G 09 G	3/36					
G 02 F	1/133	5	5	0		
G 09 G	3/20	6	2	3	M	

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月13日(2007.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、液晶表示装置等の平面表示装置及びその画像表示方法に関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

サンプルホールド回路160は、前記サンプルホールド信号S1, S2, S3, ..., Snにより、端子101, 102, 103から供給される映像信号R、G、Bをサンプルホールドし、出力バッファ回路170にそのホールドされた映像信号を表示信号として供給する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

液晶パネル202は、マトリクス状に配置された複数の画素電極203と、画素電極への印加電圧を制御する複数のスイッチング素子204と、各スイッチング素子へ表示信号を伝達する複数のデータ信号線206と、各スイッチング素子204の導通信号を伝達する複数の走査信号線205とから構成されており、データ信号線206には水平走査回路100の出力バッファ回路170から出力する表示信号が供給され、走査信号線205には垂直走査回路201から出力すると走査信号が供給される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

サンプリング信号発生回路140は、シフトレジスタ140-1, 2, ..., jにより構成され、各シフトレジスタ140-1, 2, ..., jのD入力に供給されるシフトレジスタ130のQ1, Q2, ..., Qjからの出力信号と、各シフトレジスタのCK入力に供給されるクロック発生回路120からのクロック信号に基づいて、S1, S2, S3, ..., Snの順序でサンプルホールド信号を発生する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

液晶パネル202は、マトリクス状に配置された複数の画素電極203と、画素電極への印加電圧を制御する複数のスイッチング素子204と、各スイッチング素子へ表示信号を伝達する複数のデータ信号線206と、各スイッチング素子204の導通信号を伝達する複数の走査信号線205とから構成されており、データ信号線206には水平走査回路300の出力バッファ回路170から出力する表示信号が供給され、走査信号線205には垂直走査回路201から出力する走査信号が供給される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

クロック発生回路120は、タイミング信号発生回路200から供給される水平走査クロック信号(HCK)と水平走査開始信号(HST)に基づいて位相の初期設定がなされ、図3に示す水平走査クロック信号(HCK)を3分周した位相の異なるクロック信号CK1, CK2, CK3を発生し、このクロック信号CK1, CK2, CK3をサンプリング信号発生回路140のシフトレジスタ140-1, 140-2, 140-3にそれぞれ供給する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

サンプリング信号発生回路140は、フリップフロップ3k-2(k=1, 2, ..., i)からなるシフトレジスタ140-1と、フリップフロップ3k-1(k=1, 2, ..., i)からなるシフトレジスタ140-2と、フリップフロップ3k(k=1, 2, ..., i)からなるシフトレジスタ140-3により構成される。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

このシフトレジスタ140-1, 140-2, 140-3は、クロック発生回路120

からそれぞれ供給されるクロック信号 C K 1 , C K 2 , C K 3 に基づいてシフトレジスター 130 から供給される水平走査開始信号 (H S T 1 , H S T 2 , H S T 3) を遅延することで水平走査クロック信号 (H C K) の 3 クロック幅のサンプルホールド信号を発生し、出力禁止回路 150 に供給する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

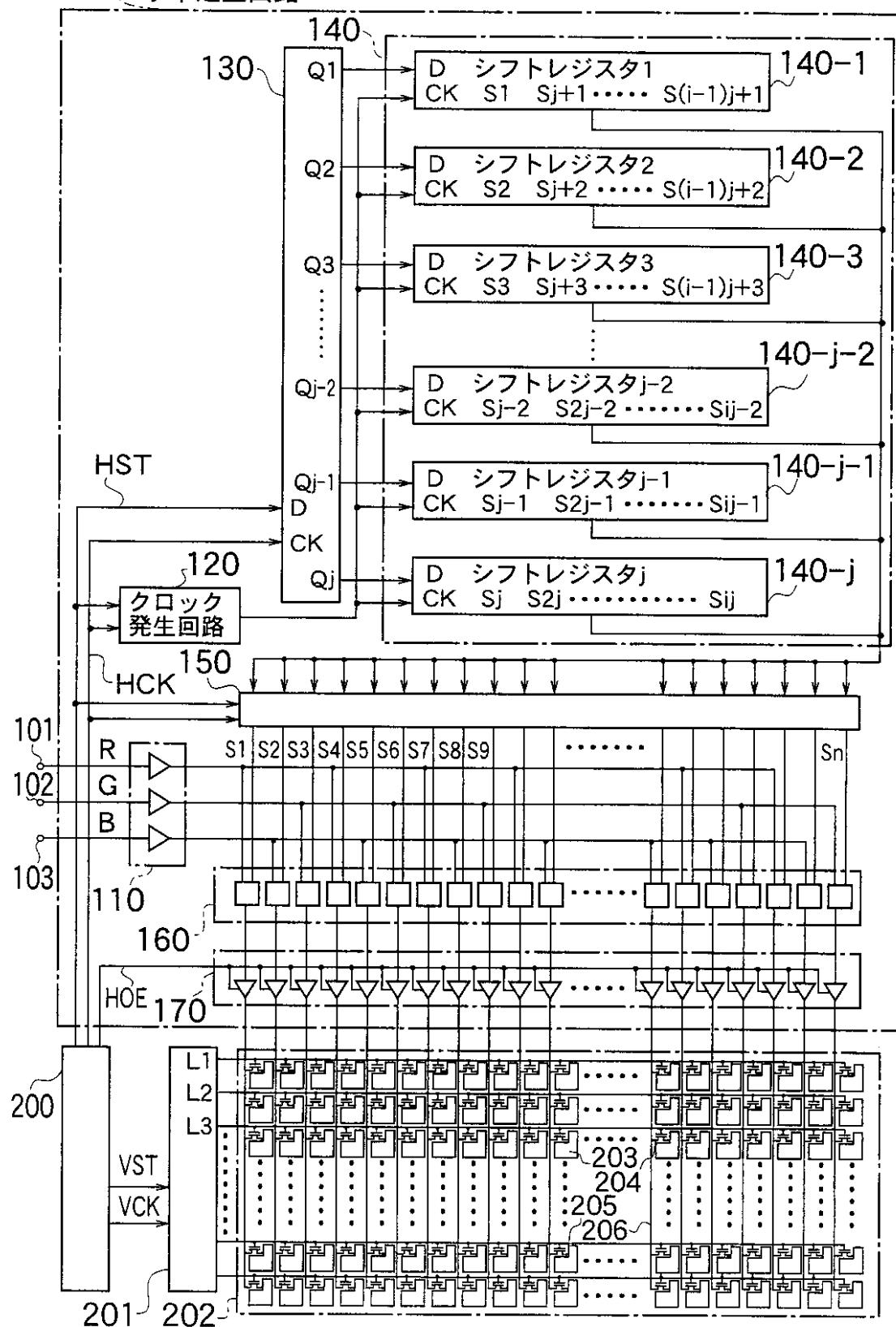
【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

300 水平走査回路



【手続補正10】

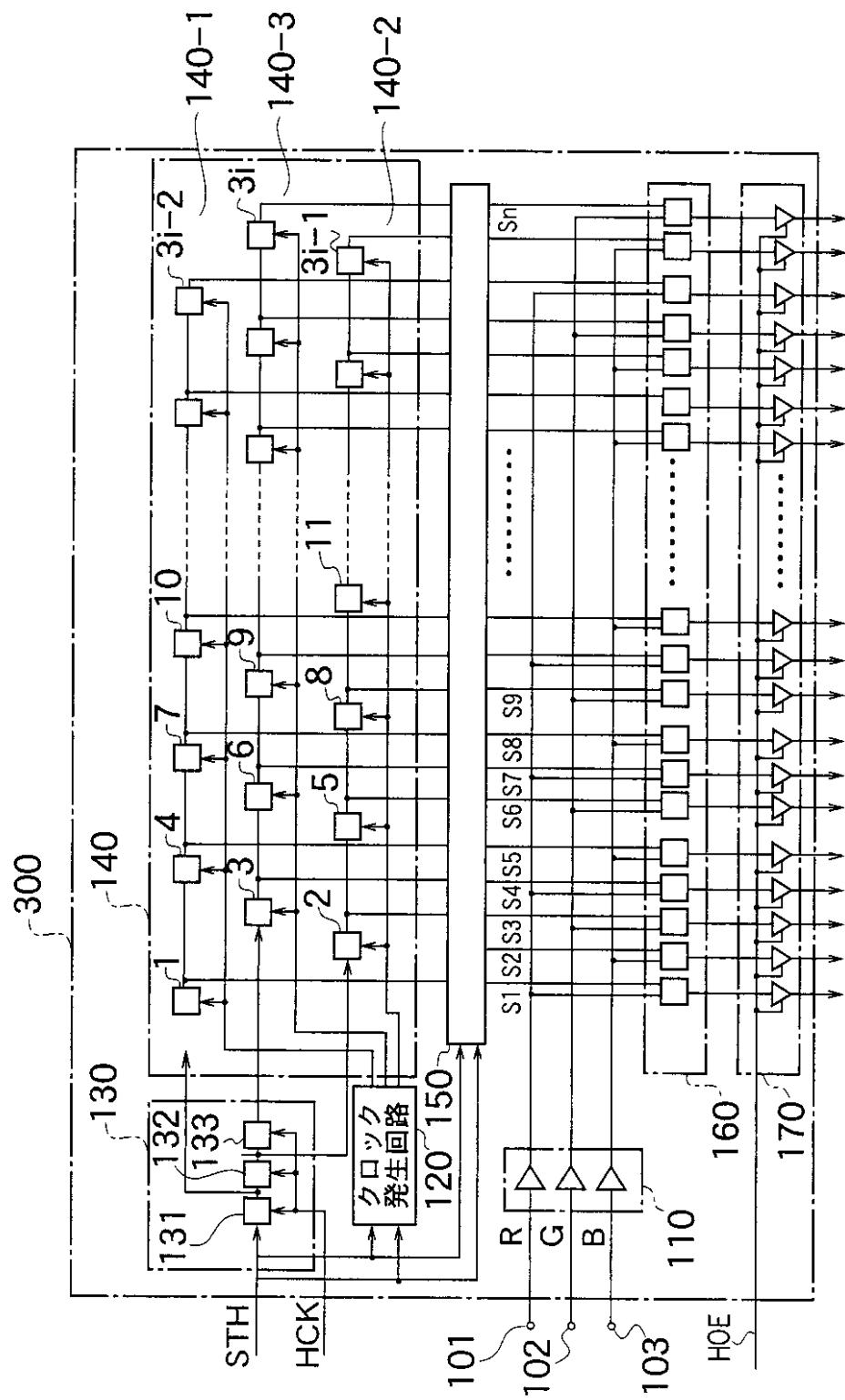
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正11】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

